

モンゴリアンクラブ

No31 2019/03/01

発行：鳥取県モンゴル中央県親善協

日本語教室からクリスマスの便りが届きました ♡



今年度の夏は日本語学級から6人の子ども達と学級の先生が青少年交流事業で来県しました。帰国後も学級の仲間たちと日本語の学習にはりきっているようです。日本語学級のクリスマスパーティを、とても楽しんだようです。

予告！ 第13回モンゴル友好交流の翼

2019年7月24日(水)～7月31日(水) 実施予定

- ・モンゴル中央県の人々との交流
ホームステイ、日本語学級生との交流、草原での交流 など
- ・南ゴビ砂漠を満喫

*詳細は4月広報の予定です



県立農業大学校創立 90 周年記念式典で 元モンゴル人農業研修生が記念講演！

平成30年12月1日に開催された鳥取県立農業大学校創立90周年記念式典に際し、元「モンゴル人農業研修生」バヤルフー氏が講演発表者として招待され、平井知事、石田倉吉市長、県会議員他関係者の前で記念講演者3人のうちの一人として講演しました。

バヤルフー氏は平成11年度6か月、20年度2か月の2回、農業研修を受け、その成果を生かし、中央県ゾーンモド市において「アトリーン・シム農場」を経営し、大きな成果を上げています。

この機会に当親善協会は、三朝温泉で歓迎会を行うとともに、農大の農場や堆肥センター、株式会社北栄ドリーム農場の視察案内をし、帰国前に京都を楽しんでいただきました。



記念講演するバヤルフー氏

農大のいちご園と
シクラメンハウス



京都観光 高台寺

イベントでモンゴル紹介

夢みなとタワー
国際交流の日
～モンゴルを
楽しもう～



11月23日
夢みなとタワー
主催：夢みなとタワー

おもちゃ展示や遊び
体験を提供しました。

市民活動フェスタinとっとり



市民活動フェスタ
in とっとり

11月17日
鳥取市高齢者福祉センター
主催：実行委員会、
鳥取市ボランティア市民
活動センター



皮製品や餃子、ドーナツ
を販売、好評でした。

日本語学級 ちょっと教えて!

今年1月上旬、中央県日本語学級の様子をオトゴンチメグ先生に教えていただきました。インタビューは前国際交流員のビャンバジャルガルさんです。

こんにちは。今日のモンゴルの天気はどうか。

こんにちは。今日は雪が降っていませんが、気温は昼間は-17℃、深夜は-25℃になりますよ。

学級には何名の生徒が通っていますか。

登録は45名ですが、今は小中高校の冬休みや冬季の極寒で休む子もいます。20名前後は毎回来ています。

日本語学級は、日本の塾などと同じですね。

そうですね、塾のようなものです。子どもたちが、自分の興味や将来の夢のために様々な塾やサークルを選択して、通うという感じです。今は、午前中のクラスに13名、午後のクラスに7名程度が通っています。

日本語の勉強では何か工夫がありますか。

日本の文化や習慣などに触れるようにしています。例えば、日本人を招いて日本語で話してみるとか、日本の歌を聞いた覚えたりするのも人気の授業のひとつです。

去年の日本語能力試験には何名受けましたか？

N5に5名、N4に4名、N3に3名が試験を受けました。

※試験は12月に実施され、1月下旬に結果発表がありました。合格はN4の1名のみでしたが、他の子もあと一歩でした。今回の経験を生かして、また、チャレンジしてください!

オトゴ先生から鳥取の皆様へ

鳥取県の皆さん、お元気ですか。去年の夏は大変お世話になりました。

鳥取を訪れた子ども達は皆元気で、将来は日本へ留学すると言って、日本語学習だけではなく、他の勉強にも励んでいます。鳥取から帰った直後にゾーンモド市のケーブルテレビに出て、日本や鳥取県のことを紹介したところ、大きな反響を呼びました。

彼らの熱心さ、積極性が刺激となって周りの子ども達が学級に興味を持ち、訪ねてくる人数が増えたり、保護者の方々も興味を持ってくれるようになりました。

皆さんのお蔭で日本や鳥取県に興味を持つ中央県民が年々増えています。この期待に応え、子ども達が日本の歌「世界に一つだけの花」の歌詞のように、それぞれの個性を持って頑張っていけるよう、これからも日本語学級を充実させたいと思います。

鳥取大学 留学生寄稿

鳥取で自分自身の最もいい私になりたい



私はモンゴルから来た留学生のツァガンオールです。現在、鳥取大学地域学部国際地域文化コースの一年生です。

私は中学校の頃は特に熱中するものがなく、学校に通うだけの毎日を過ごしていました。その私にクラスの仲間が日本語学級に誘ってくれ、見学に行くと元気な学生たちと明るい先生が迎えてくれて通うようになりました。だんだん日本に関心を持つようになり、最初はアニメ、漫画、そのうち歌詞を訳すようになり、学級だけが私のとてもいい時間になりました。

日本語の勉強をすればするほど夢が広がり、いつのまにか日本へ行くことが私の目標になっていました。そして、夢が叶って、2014年のモンゴル中央児童・生徒日本語体験事業で鳥取県に来ることができました。

帰国後、今度は日本へ留学することを夢に、日本語の勉強を続け、高校卒業後、モンゴル国立大学に入学。2年生になって日本学科を選びました。

そして、鳥取大学への留学を目標に勉強し、2018年4月に留学することができました。

鳥取に来て一番気づいたことは、私はもっと自分のことを知るべきだということでした。日本人のマナーを見て、人の気持ちをもっとわかるようになろうと考えるようになりました。

鳥取大学ではG-FRENZ(以下、GF)に参加しています。GFは学内の国際活動や地域の人と一緒にいると日本人のマナーの良さを感じます。彼らはきちんと会議を開いて、だれが参加してどんな支援をするか話し合います。みんな自分の時間を調整して活動し、連絡のやり取りを何度もして頑張っています。

そんな様子を見て、私も自分のことばかりではなく、他人のことを先に考える人に成長したいと思うようになりました。

そんな様子を見て、私も自分のことばかりではなく、他人のことを先に考える人に成長したいと思うようになりました。

将来はたくさんの人と関わる仕事をしてみたいです。日本やいろいろな国のことを知り、新しい人々に会うことでいろいろなことに気づき、広い視野で考えられる人になりたいし、もっと新しい自分を見つけたいと思います。



日本語学級のオトゴ先生と鳥取の海で